

平成 27 年 度

幼稚園教員資格認定試験

教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 受験番号及び氏名を解答用紙の指定された欄に記入してください。なお、受験番号及び氏名は2枚とも必ず記入してください。
3. 解答は、すべて所定の欄に記入してください。指定された欄以外に記入されたものについては、採点の対象となりません。
4. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 70分です。
5. 試験が終わるまで退室できません。
6. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
7. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
8. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問 題 1 ページ

【問 1】

文部科学省『幼稚園教育指導資料第 1 集 指導計画の作成と保育の展開』（平成 25 年 7 月改訂）には、「（中略）遊びは幼児期の特有の学習であり、幼稚園教育においては遊びを通しての総合的な指導を中心に行うことが重要です」と示されている。このことを踏まえ、幼稚園教育における遊びを通じた指導の具体例を一つ挙げ、そこでの学びについて二つ以上の観点から具体的に説明しなさい。

【問 2】

次の事例は、4 歳児の入園当初の一場面である。「幼稚園教育要領」（平成 20 年文部科学省告示第 26 号）「第 2 章 ねらい及び内容 人間関係」には、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う」と示されているが、次の事例のように入園当初は他児とのかかわりが難しい場面が生じることがある。この事例を読み、事例中の教師の人とのかかわりにおける指導の観点を二つ挙げ、さらにそれぞれの観点について事例に即して説明しなさい。

M 児は、集団生活の経験が初めてである。登園すると廊下にあるロッカーに鞆を置き、他の幼児が自分の好きな場や遊具にかかわって遊んでいる様子を廊下やテラスから見ている。「M ちゃん、お部屋に入って遊んでいいんだよ」と声をかけると、表情をこわばらせて体が硬くなってしまう。手をつなごうとしたり遊びに誘おうとすると足をふんばったりして、部屋に入りたくない気持ちを体で表現する。とうとう帰る時間まで廊下にいる日が 3 日も続いた。M 児のテンポで幼稚園に慣れて欲しいと思い、教師はできるだけ楽しそうに他の幼児と遊び、時々、M 児の方に声をかけたり笑いかけたりするようにしてみた。M 児は、友達や先生が遊んでいるのをじっと見ていて思わず笑ったり、くるっと片足で回ってみたりしながら、そこにいることを楽しんでいるようであった。他の幼児が、教師の周りや好きな遊具で遊ぶことを通して、安心して過ごせるようになってきており、皆と一緒に紙芝居を見たり、歌ったりすることなども楽しむ姿が見られることから、教師は M 児を無理に皆の中に引き込むことはしなかった。

（文部科学省『幼稚園教育指導資料第 3 集 幼児理解と評価』、ぎょうせい、平成 22 年、23 ページより引用）

【問 3】

『幼稚園教育要領解説』（平成 20 年 10 月）には、「幼稚園教育においては、教育内容に基づいた計画的な環境をつくり出し、その環境にかかわって幼児が主体性を十分に発揮して展開する生活を通して、望ましい方向に向かって幼児の発達を促すようにすること、すなわち『環境を通して行う教育』が基本となる」と示されている。環境を通して行われる教育における教師の役割について三つ挙げ、それぞれ具体的に説明しなさい。